

ペット学科2年			
前期/授業予定回数：14週（1授業45分）		後期/授業予定回数：14週（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	大友 芹香		大友 芹香
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 修得目標 犬猫に関する病気の予防や、多い基本的な疾患の知識を身につける 授業の特徴 基礎を学び、事例の話も交えて説明する 授業の進め方 座学 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。		目標取得資格名 修得目標 犬猫に関する病気の予防や、多い基本的な疾患の知識を身につける 授業の特徴 基礎を学び、事例の話も交えて説明する 授業の進め方 座学 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。 目標取得資格名	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：小型犬に多い疾患 僧帽弁閉鎖不全 第2週： " 膝蓋骨脱臼 第3週：神経系疾患 椎間板ヘルニア 第4週：てんかん・発作の対応 第5週：おさらい 第6週：飲料水と尿の異常 第7週：腎不全 第8週：糖尿病 第9週：高齢犬の介護 第10週：おさらい 第11週：小テスト・回答 第12週：宿題回答 第13週：定期試験 第14週：解答と解説		第1週：基本のおさらい 循環呼吸器、内分泌等… 第2週：咳の症状から予想される疾患 第3週： " 第4週：いろいろな症状の集合 内分泌疾患 第5週：おさらい 第6週：神経系について 第7週：神経系疾患 第8週： " 第9週：歯周病と歯磨き 第10週：高齢と介護 第11週：おさらい 第12週：ミニテスト 定期試験に向けて 第13週：定期試験 第14週：解答と解説	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点 (授業態度) 100% ±10点		素点 + 平常点 (授業態度) 100% ±10点	

ペット学科2年			
前期/授業予定回数：14回（1授業45分）		後期/授業予定回数：14回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
オリジナルプリント	高橋 大		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 修得目標 インターンシップの成功並びに就職内定を獲得する為、業界の現状及び社会人として必要とされる知識等を取得する。 授業の特徴 過去年度事例等を説明し、インターンシップや就職活動で必要とされる知識等を身に付け、内定取得に向け積極的に活動する。 授業の進め方 学生マニュアル、パワーポイント、プリントを用いて説明する。		目標取得資格名 <なし> 科目の必要性・業界での必要性 就職内定を獲得する為、業界の現状及び社会人として必要とされる知識等を取得する。 授業の特徴 就職活動で必要とされる知識等を身に付け、内定取得に向け積極的に活動する。 授業の進め方 マニュアル、板書、プリントを用いて説明する。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週 ☆ 卒業年次としての心構え・求人情報の見方 第2週 ☆ 就職活動の流れの確認 第3週 ☆ 就職調書作成 第4週～第7週 ☆ 履歴書・自己PR作成、個人面談 第8週～第11週 ☆ インターンシップ対策 第12週 ☆ インターンシップ振り返り 第13週～第14週 ☆ 後期就職活動に向けて ※就職内定者は出席免除 ※就職活動スケジュールにより変更する事もある。		第1週～第14週 ☆ 就職目的に応じた意識改善や面接対策等 ※就職内定者は基本出席免除。 ただし毎月指定日には必ず出席の事。 ※内定後、辞退や取消があった場合は直ちに再出席をすること	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
出席率90%で修得とする		出席率90%以上で単位修得	

ペット学科2年			
前期/授業予定回数：14回（1授業45分）		後期/授業予定回数：14回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	石井 さより		石井 さより
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 < なし > 修得目標 ・必要事項の連絡 ・クラスコミュニケーション ・個人面談 授業の特徴		目標取得資格名 修得目標 ・必要事項の連絡 ・クラスコミュニケーション、席替え ・個人面談 授業の特徴	
授業の進め方 ・クラス全体で伝達事項や懸案事項を検討する		授業の進め方 ・クラス全体で伝達事項や懸案事項を検討する	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：個人面談 第2週： 第3週： 第4週： 第5週： 第6週： 第7週： 第8週： 第9週： ↓ 第10週：運動会について 第11週：夏休みについて 第12週：定期試験について 第13週：インターンシップについて 第14週：研修旅行について		第1週：連絡事項 第2週：個人面談 第3週： 第4週： 第5週： 第6週： 第7週： 第8週： 第9週： ↓ 第10週： 第11週： 第12週： 第13週： ↓ 第14週：卒業式について	
成績評価方法		成績評価方法	
出席率90%で修得とする		出席率90%で修得とする	

ペット学科2年			
前期/授業予定回数：14週（1授業90分）		後期/授業予定回数：14週（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
最新犬種図鑑	桃井 彩	最新犬種図鑑	桃井 彩
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名 〈学園認定トリマーライセンス〉</p> <p>修得目標 各犬種の特徴や性格・起源・分類を学ぶ頃により、犬種の理解とお客様にスムーズな説明・接客を行う事が出来る様になる</p> <p>授業の特徴 犬種ごとの身体の特徴（スタンダード）や性格・起源・分類を学ぶ</p> <p>授業の進め方 座学。画像を多く使用し、特に多い場合はスライドを使用する</p> <p>※この科目は、ペットショップでの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>		<p>目標取得資格名 〈学園認定トリマーライセンス〉</p> <p>修得目標 各犬種の犬種の理解度を高め、お客様にスムーズな説明・接客を行う事が出来る様になる</p> <p>授業の特徴 2年間のまとめとして、全犬種の復習を行う。</p> <p>授業の進め方 座学。画像が多い為スライドを使用</p> <p>※この科目は、トリミングサロンでの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：プードル 第2週： 〃 第3週： 〃 第4週：シュナウザー 第5週： 〃 第6週：テリア 第7週： 〃 第8週：ヨークシャーテリア、ジャックラッセルテリア 第9週：マルチーズ 第10週：シーズー 第11週：血統証明書 第12週： 〃 第13週：定期試験 第14週：定期試験解答		第1週：血統証明書 第2週： 〃 第3週：1グループ 第4週：2グループ 第5週：3グループ 第6週：4, 5グループ 第7週：6, 7グループ 第8週：8グループ 第9週：9グループ 第10週： 〃 第11週： 〃 第12週：10グループ 第13週：定期試験 第14週：定期試験解答	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

トリマー科・病院トリマー科			
前期/授業予定回数：14週（1授業180分）		後期/授業予定回数：14週（1授業180分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
最新トッググルーミングマニュアル	井上麻弥子 石井 さより 他	最新トッググルーミングマニュアル	井上麻弥子 石井 さより 他
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名 〈学園認定トリマーライセンスA級〉</p> <p>修得目標 プードルのラムクリップを目標に様々な犬種のカット技術の基礎、応用を学ぶ。又、お客様の犬のトリミングを通し、接客方法やオーダーの取り方を学ぶ。</p> <p>授業の特徴 生きた新しい情報を取り入れ、トリミングのスタンダードを基本とし、様々な犬種のトリミングを学ぶ。</p> <p>授業の進め方 スタンダードを理解させ、トリミングの方法・形を覚えるだけでなく、自分で考えてカットする力をつける</p> <p>※この科目は、トリミングサロンでの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>		<p>目標取得資格名 〈トリマーライセンス〉</p> <p>習得目標 ペット業界の日々新しい情報と変化し改良されていくトリミングの方法に対応していく為に必要なトリミング技術を向上させる。</p> <p>授業の特徴 生きた新しい情報を取り入れ、トリミングのスタンダードを基本とし、あらゆる犬種のトリミング知識と技術を学ぶ。</p> <p>授業の進め方 スタンダードを理解させ、トリミングの方法・形を覚えるだけではなく、自分で考えてカットさせる力をつける。</p> <p>※この科目は、トリミングサロンで実務経験のある教員が実践的教育を行っています。 目標取得資格名</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>○トリミング実習（お客様含む） 接客・オーダーの取り方</p> <p>○実習に伴う、道具の消毒・教室の掃除 当番制</p> <p>○皮膚、被毛の管理 シャンプー剤使い分け</p> <p>○犬種別カット技法の理解 試験（プードル ケネル&ラムクリップ） 各犬種カット技法</p> <p>第1週：各犬種グルーミング （小型一人：大型数人組） 各犬種トリミング（バリカン：シザー） 二人一組：一人 テリア種ブラッキング実習</p> <p>第2週：以降～月1 第14週</p>		<p>第1週～第14週</p> <p>☆ トリマー資格試験対策講義</p> <p>☆ 11・2月学園認定トリマーライセンス</p> <p>☆ 皮膚・被毛の管理法（シャンプー剤使い分け）</p> <p>☆ テリア種ブラッキング</p> <p>☆ 犬種別カット技法</p> <p>☆ お客様トリミング（に伴う接客の仕方）</p> <p>☆ 第14週：トリミング実習実技試験</p>	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
<p>素点 + 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>		<p>素点 + 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>	

ペット学科2年/トリマー科・病院トリマー科			
前期/授業予定回数：14週（1授業90分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
JKC 最新 グルーミングマニュアル	井上 麻弥子		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 〈トリマーライセンス〉 修得目標 ペット業界の日々新しい情報と変化し改良されていくトリミングの方法への対応と、トリミング技術を向上させる為、座学による頭で考えるトリミング知識を学ぶ 授業の特徴 トリミングのスタンダードを基本とし、あらゆる犬種のトリミング知識と技術を学ぶ 授業の進め方 トリミングの方法を文字だけで覚え理解させるのではなく、形で理解してもらう為に犬体図や骨格図なども書き学習する ※この科目は、トリミングでの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。		目標取得資格名 修得目標 授業の特徴 授業の進め方	
授業進行計画		授業進行計画	
<ul style="list-style-type: none"> ●グルーミング・トリミング中の考え方と姿勢 ●ブラッキングの基礎知識 (ブラッキングをする理由と意味) ●犬種別カット技法 プードル (ラムクリップ) 犬の犬体・骨格から考えるトリミング方法 ●項目別スキル認定取得対策 ●犬種別カット技法 プードル (ショークリップ) (ペットクリップ、ダッチクリップ) ●犬種別カット技法 プラッキングテリア種 (ワイアーフォックス、ウエスティー、スコッチジャックラッセル) 用途・沿革に沿いその犬種らしさを引き出すトリミング技法 ●犬種別カット技法 ビションフリーゼ スタンダードカット方法 ショークリップからペットカットまで ●犬種別カット技法 スイニング犬種 アメリカンコッカースパニエル ●試験解答 		第1週： 第2週： 第3週： 第4週： 第5週： 第6週： 第7週： 第8週： 第9週： 第10週： 第11週： 第12週： 第13週： 第14週：	
成績評価方法		成績評価方法	
素点 + 平常点 (授業態度) 100% ±10点		素点 + 平常点 (授業態度) 100% ±10点	

ペット学科/トリマー科			
前期/授業予定回数：14週（1授業90分）		後期/授業予定回数：14週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
JKC 最新 ドッググルーミング マニュアル	井上 麻弥子		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 〈学園認定トリマーライセンス〉 修得目標 トリミング実習をメインにトリミング技術の向上を目指す。又座学にて造形を行い骨格から犬体を理解する。更に、コンテストに向けデザイン力を養う 授業の特徴 ライセンスの取得、コンテスト入賞に向け、時間や試験の採点ポイントを意識しながら実習を行う。 授業の進め方 実習をメインに一人で一頭仕上げる事を目標とする。また、数回座学を行う。 ※この科目は、トリミングサロンの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。	目標取得資格名 修得目標 授業の特徴 授業の進め方		
授業進行計画		授業進行計画	
第1週 ～ 第14週 経専学園認定トリマーライセンス実技試験合格に向けた実習 項目別スキル認定取得に向けた実習（カット犬種） その他、各犬種のグルーミング及びトリミング 6月 犬体・骨格の理解を目的として造形などの座学を行う（2回）		第1週： 第2週： 第3週： 第4週： 第5週： 第6週： 第7週： 第8週： 第9週： 第10週： 第11週： 第12週： 第13週： 第14週：	
成績評価方法		成績評価方法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペット学科2年/トリマー科			
前期/授業予定回数：14週（1授業90分）		後期/授業予定回数：14週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	井上 麻弥子		井上 麻弥子
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 修得目標 トリマーとして仕事をする為に必要な常識と知識を学ぶ トリマーとしての仕事を学ぶ 授業の特徴 実践で接客に役立つ行動がスムーズに出来る様に学ぶ お客様のすぐに提供できる知識・情報を学ぶ 授業の進め方 座学、及び実習 ※この科目は、トリミングでの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。		目標取得資格名 修得目標 トリミングデザインを自ら考えて形にできるようにする。 トリミングイメージが描けるようにする。 授業の特徴 デザイン・造形などを行い、犬体・骨格の理解を深めカットのメリット、デメリットを考え、自らオリジナルデザインを考える 授業の進め方 座学をメインとし、実習で経専学園トリミングコンテストを行う予定。 ※この科目は、トリミングでの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> ●接客 <ul style="list-style-type: none"> ◎1年次からの続き ・受付時のオーダーのとりかた ・カルテの書き方 ・クレーム対応 ●犬の皮膚Ⅱ <ul style="list-style-type: none"> ・トリマーが出来るケア ●シャンプー剤 <ul style="list-style-type: none"> ・シャンプー剤の用途と種類 ・シャンプー剤の選び方 ●フード雑学 <ul style="list-style-type: none"> ・犬の健康を考えたフード選び ●グルーミングの付加サービス ●トリミング試験対策 		第1週～9週 <ul style="list-style-type: none"> ・テーマとデザインを考える ・決定したデザインをデッサン ・粘土制作 ・ウィック梳き 第10週～12週 <ul style="list-style-type: none"> ・コンテスト事前準備 ・ウィック色入れ、ウィック粗刈りまで 第13週 <ul style="list-style-type: none"> ・実習時間内で経専トリミングコンテストを予定 第14週 <ul style="list-style-type: none"> ・トリミングコンテスト振り返りと反省 ※コンテストの準備が順調に進み、時間に余裕が出来た時は、トリマー実務の授業をします。	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点 (授業態度) 100% ±10点		素点 + 平常点 (授業態度) 100% ±10点	

ペット学科2年/病院トリマー科			
前期/授業予定回数：14週（1授業90分）		後期/授業予定回数：14週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	青木 美帆		青木 美帆
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<経専学園認定動物看護ライセンス> <u>修得目標</u> 動物病院で看護補助を行うための知識を学ぶ 便、尿、血液、画像検査等</p> <p><u>授業の特徴</u> 授業の区切りで小テストを実施し、理解度を深める</p> <p><u>授業の進め方</u> 座学・実習</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>		<p>目標取得資格名<動物看護ライセンス> <u>修得目標</u> 動物病院で看護補助を行うための知識を学ぶ 便、尿、血液、画像検査等</p> <p><u>授業の特徴</u> 授業の区切りで小テストを実施し、理解度を深める</p> <p><u>授業の進め方</u> 座学・実習</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：臨床検査とは、消化器系の理解 第2週：便の正常、異常 第3週：採便・便検査 第4週：おさらい 第5週：泌尿器系の理解 第6週：尿の異常、正常 第7週：採尿・尿検査 第8週：おさらい 第9週：便検査・尿検査おさらい 第10週：血液の理解 第11週：血液検査（CBC） 第12週：おさらい、夏休み宿題 第13週：定期試験 第14週：解答と解説 ※当日使用できる検体によって内容は前後することもある。		第1週：血液検査（血球の違い） 第2週：血液検査（ヘマトクリット値） 第3週：血液検査（生化学検査） 第4週：" 第5週：画像検査（レントゲン） 第6週：" 第7週：画像検査（超音波検査） 第8週：画像検査（CT・MRIの違い） 第9週：1年生からの復習 第10週：（尿・便・血・眼・耳・皮膚・レントゲン等） 第11週：復習 第12週：看護師ライセンス実技復習 第13週：定期試験 第14週：解答と解説 ※当日使用できる検体、生体によって内容は前後することもある。	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペット学科2年/病院トリマー科			
前期/授業予定回数：14週（1授業90分）		後期/授業予定回数：14週（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	大友 芹香	動物看護実習テキスト	大友 芹香
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<経専学園認定動物看護ライセンス> 修得目標 動物病院で働く者として必要な知識、対応を身に付ける</p> <p>授業の特徴 座学と実習</p> <p>授業の進め方 実際に自分で作業、用意を行い実践的に身に付ける</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>		<p>目標取得資格名<動物看護ライセンス> 修得目標 犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識や内科診療の補助に必要な手技などを学び、身体検査や採血、輸液、輸血などについて理解する。</p> <p>授業の特徴 座学、実習</p> <p>授業の進め方 座学、実習</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
第1週：1年生のおさらい 第2週：保定の勉強第二弾 診察中の保定 第3週： " レントゲン・エコー 第4週：ワクチンの準備 第5週：調剤業務 薬について 第6週： " " 第7週： " " 第8週：予防の啓発 ワクチン編 第9週： " フィラリア・マダニ編 第10週：マイクロチップについて 第11週：歯磨きの指導 第12週：おさらい 第13週：定期試験 第14週：解答・解説		第1週：手術について学ぶ 第2週：滅菌、消毒、術野について 第3週：器具 第4週： " 第5週：挿管、麻酔、心電図 第6週：去勢手術の流れ 第7週：避妊手術の流れ 第8週：総復習 第9週：歯磨き 第10週：スケーリング処置 第11週：病院に必要な接客について 第12週：（電話対応、待合室対応） 第13週：定期試験（筆記試験+実技試験） 第14週：解答、解説 ※上記日程・内容については、 生体確保等の理由により変更することがある 前期動物確保が出来ず、前期出来なかった授業 保定について動物が居る時に随時実施する。	
成績評価方法		成績評価方法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペット学科2年/病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：14週（1授業90分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	大野 富美		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名</p> <p>修得目標 躰の観点から犬の性質を理解し、犬に触れる際に実際で できる様に学び、飼い主様からの相談に答えられる様な 知識を身に付ける。</p> <p>授業の特徴 知識を修得し、犬に触れる際に実際に出来る様に学ぶ。</p> <p>授業の進め方 座学で修得した知識を実習で実践する。</p> <p>※この科目は、ドッグトレーニングのお実務経験のある教員が 実践的教育を行っています。</p>		<p>目標取得資格名</p> <p>修得目標</p> <p>授業の特徴</p> <p>授業の進め方</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：問題行動について、具体例、対処法 第2週： 第3週： 第4週： ドッグスポーツについて 第5週： 第6週： 犬との色々な遊びについて 第7週： 第8週： 第9週： 第10週： 第11週： 第12週： ↓ 第13週：定期試験 第14週：解答・解説			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点 (授業態度) 100% ±10点			

ペット学科2年/ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：14週（1授業180分）		後期/授業予定回数：14週（1授業180分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
最新トックグルーミングマニュアル	井上麻弥子 石井 さより 他	最新トックグルーミングマニュアル	井上麻弥子 石井 さより 他
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名 〈学園認定トリマーライセンスB級〉</p> <p>修得目標 プードルのラムクリップを目標に様々な犬種のカット技術の基礎、応用を学ぶ。又、お客様の犬のトリミングを通し、接客方法やオーダーの取り方を学ぶ。</p> <p>授業の特徴 生きた新しい情報を取り入れ、トリミングのスタンダードを基本とし、様々な犬種のトリミングを学ぶ。</p> <p>授業の進め方 スタンダードを理解させ、トリミングの方法・形を覚えるだけでなく、自分で考えてカットする力をつける</p> <p>※この科目は、トリミングサロンの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>		<p>目標取得資格名 〈学園認定トリマーライセンスB級〉</p> <p>修得目標 プードルのテディベアカットを目標に様々な犬種のカット技術の基礎・応用を学ぶ。又、お客様の犬のトリミングを通し接客方法やオーダーの取り方を学ぶ。</p> <p>授業の特徴 生きた新しい情報を取り入れ、トリミングのスタンダードを基本とし様々な犬種のトリミングを学ぶ。</p> <p>授業の進め方 スタンダードを理解させ、トリミングの方法・形を覚えるだけではなく、自分で考えてカットさせる力をつける</p> <p>※この科目は、トリミングサロンの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>○トリミング実習（お客様含む） 接客・オーダーの取り方</p> <p>○実習に伴う、道具の消毒・教室の掃除 当番制</p> <p>○皮膚、被毛の管理 シャンプー剤使い分け</p> <p>○犬種別カット技法の理解 試験（プードル テディベアカット） 各犬種カット技法</p> <p>第1週：テリア種ブラッキング実習 第2週： ↓ 各犬種グルーミング（小型一人：大型数人一組） 各犬種トリミング（バリカン：シザー） ↓ 二人一組：一人 第14週</p>		<p>○トリミング実習（お客様含む） 接客・オーダーの取り方</p> <p>○実習に伴う、道具の消毒・教室の掃除 当番制</p> <p>○皮膚、被毛の管理 シャンプー剤使い分け</p> <p>○犬種別カット技法の理解 試験（プードル テディベアカット） 各犬種カット技法</p> <p>第1週～第14週 2人1組でカット、身体バリカン、全身シザー 1人でカット、身体バリカン、全身シザー 1人でグルーミング 2～3人1組で大型犬グルーミング</p>	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペット学科2年/ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数： 5週（1授業90分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	小山内 真美		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 修得目標 ペット服についての様々な知識の学習やグッズ制作を通して、実際のショップで行われているサービスについて学ぶ。 授業の特徴 実際のショップで行われているサービスについて学ぶ事が出来る。 授業の進め方 プリントを使用した座学や、ミシンを使用してグッズ制作を行う。 ※この科目は、犬の服飾制作の実務経験のある教員が実践的教育を行っています。		目標取得資格名 修得目標 ペット服についての様々な知識の学習やグッズ制作を通して、実際のショップで行われているサービスについて学ぶ。 授業の特徴 実際のショップで行われているサービスについて学ぶ事が出来る。 授業の進め方 プリントを使用した座学や、ミシンを使用してグッズ制作を行う。 ※この科目は、犬の服飾制作の実務経験のある教員が実践的教育を行っています。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1回目：4/24 ペット服について 採寸の仕方、サイズ選びについて 第2～5回目： 5/22・6/19・7/3・8/28 ミシン練習で巾着作り ミシンで作る簡単マナーバンド 型紙、裁断、本縫い		第1回目：10/3 メリット・デメリット ペット服に多用される生地の種類 第2～5回目： 10/31・11/21・12/5・1/23 フリース生地の特徴性質 ケープ作り	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
出席率90%以上で修得とする		出席率90%以上で修得とする	

ペット学科2年/ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数： 5週（1授業90分）		後期/授業予定回数： 週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	橋本 理恵		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 修得目標 ドッグアロマが与える犬への心身の働きについて学びアロマ、肉球クリームなどの活用方法について学ぶ。		目標取得資格名 < なし > 修得目標 リラックス・リンパ・ツボを使った全身のドッグマッサージが出来るようになる	
授業の特徴 アロマセラピーの基礎を学びながら犬のケアについて身に付けていく。		授業の特徴 幅広いドッグマッサージを知り、実践してみる	
授業の進め方 プリント、実習にて体感、実践を大切にする。		授業の進め方 プリント、実習にて体感、実践を大切にする	
※この科目は、ペットマッサージの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。		※この科目は、ペットマッサージの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：5/8 アロマセラピーとは、精油 （実習：消臭・リームスプレー） 第2週：5/29 犬への心身への働き （実習：虫よけ・ボディースプレー） 第3週：6/26 精油とは・芳香蒸留水 （実習：ボディースプレー） 第4週：7/10 精油の薬理効果 第5週：9/4 ホームケアでの活用 （実習：肉球クリーム）		第1週：ドッグマッサージの基本 第2週：ストレスについて リラクスマッサージ 第3週：リンパのしくみ リンパマッサージ 第4週：経絡とツボについて ツボマッサージ 第5週：全身マッサージ・総まとめ	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
出席率90%で修得とする		出席率90%で修得とする	

ペット学科2年/ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：14週（1授業90分）		後期/授業予定回数：14週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	青沼 有紀		青沼 有紀
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<u>目標取得資格名</u> <u>修得目標</u> 犬・猫の栄養学・生理学・手作り食の基本を知る		<u>目標取得資格名</u> <u>修得目標</u> 犬・猫の栄養学・生理学・手作り食の基本を知る	
<u>授業の特徴</u> 一般的な犬・猫の栄養学・食材知識に加えホリスティックな考え方を取り入れた犬猫の健康のための手作り食の基本を修得する。		<u>授業の特徴</u> 一般的な犬・猫の栄養学・食材知識に加えホリスティックな考え方を取り入れた犬猫の健康のための手作り食の基本を修得する。	
<u>授業の進め方</u> 座学と実習を交え、知識を学び、食材に触れ体験する。		<u>授業の進め方</u> 座学と実習を交え、知識を学び、食材に触れ体験する。	
※この科目は、犬の手作りご飯の実務経験のある教員が実践的教育を行っています。		※この科目は、犬の手作りご飯の実務経験のある教員が実践的教育を行っています。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1回目：4月17日 ペットフードの手作り食 飼い主のニーズ 第2回目：5月15日 犬猫の手作り食の始め方 第3回目：6月12日 犬猫の手作り食主な食材 第4回目：8月21日 犬猫の栄養食 3大栄養素 糖質		第1回目： ペットフードの手作り食 飼い主のニーズ 第2回目： 犬猫の手作り食の始め方 第3回目： 犬猫の手作り食主な食材 第4回目： 犬猫の栄養食 3大栄養素 糖質	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
出席率90%で修得とする		出席率90%で修得とする	

ペット学科2年/ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：14週（1授業90分）		後期/授業予定回数：14週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	大森 吾貴彦		大森 吾貴彦
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名 修得目標 生態・習性・特徴および飼養管理について学習し、ショップでお客様に対し説明や飼育指導が出来る様な知識を身に着ける。 授業の特徴 実際に動物に触れてから座学で注意点を学ぶ。 授業の進め方 座学・実習 テキスト、プロジェクター、板書を用いて説明する。 ※この科目は、ペットショップでの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>		<p>目標取得資格名 修得目標 エキゾチック動物の生態、飼育管理法、疾病について学ぶ。 授業の特徴 実際に動物に触れてから座学で注意点を学ぶ 授業の進め方 テキスト、プロジェクター、板書を用いて説明する。 ※この科目は、ペットショップでの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：ハリネズミの特徴について 第2週：ハリネズミの飼育方法 第3週：チンチラの特徴について 第4週：チンチラの生態について 第5週：チンチラの飼育方法 第6週：モモンガの特徴、生態について 第7週：モモンガの飼育方法について 第8週：デグーの特徴について 第9週：デグーの生態について 第10週：デグーの飼育方法について 第11週：ヒョウモントカゲモドキの特徴、飼育方法 第12週：ジリスの特徴、飼育方法 第13週：定期試験 第14週：解答・解説		第1週：チンチラの生態について 第2週：チンチラの飼育方法 第3週：チンチラの食について 第4週：モルモットの特徴について 第5週：モルモットの生態について 第6週：モルモット飼育方法 第7週：鳥の特徴について 第8週：鳥の生態について 第9週：鳥の飼育方法 第10週：デグーの特徴、飼育方法 第11週：モモンガの特徴飼育方法 第12週：ハリネズミの特徴飼育方法 第13週：定期試験 第14週：解答・解説	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペット学科2年/ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：14週（1授業90分）		後期/授業予定回数：14週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	桃井 彩		桃井 彩
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 修得目標 ペットショップ業務で起こるシチュエーションに対応出来る販売、接客力、スタッフとしての知識と応用力を身につける。 授業の特徴 各シチュエーションを想定し、学生同士で考え、理想の対応へと結びつけていく 授業の進め方 座学の後に、実際にシュミレーションを行う ※この科目は、ペットショップでの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。		目標取得資格名 修得目標 ペットショップ業務で起こるシチュエーションに対応出来る販売、接客力、スタッフとしての知識と応用力を身につける。 授業の特徴 各シチュエーションを想定し、学生同士で考え、理想の対応へと結びつけていく 授業の進め方 座学の後に、実際にシュミレーションを行う ※この科目は、ペットショップでの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。	
授業進行計画		授業進行計画	
第1週：販売実習の授業について 第2週：お客様シャンプー指導の仕方 第3週：〃 第4週：「ペットを飼う」について 第5週：〃 第6週：「子犬、子猫を飼う」について 第7週：〃 第8週：〃 第9週：夏用ディスプレイ 第10週：「子犬、子猫を飼う」について 第11週：〃 第12週：〃 第13週：定期試験（筆記・実技） 第14週：定期試験解答・秋用ディスプレイ		第1週：生体販売関連について 第2週：〃 第3週：〃 第4週：〃 第5週：クリスマスフォトスポット作り 第6週：〃 第7週：〃 第8週：フード販売関連について 第9週：〃 第10週：〃 第11週：〃 第12週：〃 第13週：定期試験（筆記・実技） 第14週：定期試験解答	
成績評価方法		成績評価方法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペット学科2年			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：14週（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			岩元 奈穂
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 修得目標 授業の特徴 授業の進め方		目標取得資格名 修得目標 一般的なブリーダーの繁殖学を学びトリマー・ショップ店員として必要な知識を学習していく 授業の特徴 性周期、交配方法を学び、妊娠・出産、子犬の離乳までの流れを学習。タブーとされる毛色の交配の基本を知る 授業の進め方 板書、プリント、ビデオをなど ※この科目は、犬の繁殖経験のある教員が実践的教育を行っています。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週： 第2週： 第3週： 第4週： 第5週： 第6週： 第7週： 第8週： 第9週： 第10週： 第11週： 第12週： 第13週： 第14週：		第1週：繁殖、血統と遺伝、遺伝病 第2週：性周期について 第3週：犬の繁殖型について 第4週：猫の繁殖型について 第5週：犬と猫の交尾行動の違い 第6週：排卵と交配適期 第7週：自然交配と人工交配、スメア検査 第8週：妊娠と偽妊娠 小テスト予定 第9週：出産とリスク 難産と帝王切開 第10週：新生子の免疫と管理 断尾、狼爪の切除について 第11週：難産になりやすい犬種、交配式について（毛色、ミスカラーなど） 第12週：動物取扱業、犬猫の飼育管理基準 第13週：定期試験 第14週：解答解説	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペット学科2年			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：14週（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			桃井 彩
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<u>目標取得資格名</u> <u>修得目標</u> <u>授業の特徴</u> <u>授業の進め方</u>		<u>目標取得資格名</u> <u>修得目標</u> 子犬の成長、健康管理や病気、しつけについて学ぶ <u>授業の特徴</u> 座学 <u>授業の進め方</u> 重要事項を解説 ※この科目は、ペットショップでの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週： 第2週： 第3週： 第4週： 第5週： 第6週： 第7週： 第8週： 第9週： 第10週： 第11週： 第12週： 第13週： 第14週：		第1週：子犬の行動と発育① 第2週：子犬の行動と発育② 第3週：社会科期について① 第4週：社会科期について② 第5週：子犬を迎える準備 第6週：子犬の食事 第7週：子犬の健康管理と病気 第8週：子犬のしつけ① 第9週：子犬のしつけ② 第10週：子犬のしつけ③ 第11週：子犬のしつけ④ 第12週：子犬のしつけ⑤ 第13週：定期試験 第14週：解答解説	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペット学科2年/病院トリマー科			
前期/授業予定回数：週（1授業分）		後期/授業予定回数：14週（1授45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護実習テキスト	青木 美帆
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名<動物看護ライセンス> <u>修得目標</u> 犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識や内科診療の補助に必要な手技などを学び、身体検査や採血、輸液、輸血などについて理解する。 <u>授業の特徴</u> 座学、実習 <u>授業の進め方</u> 座学、実習 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
		<p>第1週：皮膚の働きと構造 第2週：主な皮膚疾患 第3週：薬用シャンプー（細菌性） 第4週：成分とシャンプー種類 第5週：薬用シャンプー（真菌性） 第6週：成分とシャンプー種類 第7週：薬用シャンプー（角質溶解性） 第8週：成分とシャンプー種類 第9週：薬用シャンプー（止痒・保湿性） 第10週：成分とシャンプー種類 第11週：薬用シャンプーの方法 第12週：復習 第13週：定期試験（筆記試験＋実技試験） 第14週：解答、解説</p> <p>※上記日程・内容については、 生体確保等の理由により変更することがある</p> <p>前期動物確保が出来ず、前期出来なかった授業 保定について動物が居る時に随時実施する。</p>	
成績評価方法		成績評価方法	
		<p>定期試験 + 平常点 100% ±10点</p>	

科目名

ペット学科/動物看護師科2年生			
前期/授業予定回数：15週（1授業45分）		後期/授業予定回数：15週（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
オリジナルプリント	高橋 大		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 <なし> 科目の必要性・業界での必要性 インターンシップの成功並びに就職内定を獲得する為、業界の現状及び社会人として必要とされる知識等を取得する。		目標取得資格名 <なし> 科目の必要性・業界での必要性 就職内定を獲得する為、業界の現状及び社会人として必要とされる知識等を取得する。	
授業の特徴 過年度事例等を説明し、インターンシップや就職活動で必要とされる知識等を身に付け、内定取得に向け積極的に活動する。		授業の特徴 就職活動で必要とされる知識等を身に付け、内定取得に向け積極的に活動する。	
授業の進め方 学生マニュアル、パワーポイント、プリントを用いて説明する。		授業の進め方 学生マニュアル、板書、プリントを用いて説明する。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週 ☆ 卒業年次としての心構え・求人情報の見方 第2週 ☆ 就職活動の流れの確認 第3週 ☆ 就職調書作成 第4週～第7週 ☆ 履歴書・自己PR作成、個人面談 第8週～第11週 ☆ インターンシップ対策 第12週 ☆ インターンシップ振り返り 第13週～15週 ☆ 後期就職活動に向けて ※就職内定者は出席免除。 ※就職活動スケジュールにより変更することもある。		第1週～第15週 ☆ 就職目的に応じた意識改善や面接対策等 ※就職内定者は基本出席免除。 ただし指定日に出席する場合あり。 ※内定後、辞退や取消があった場合は直ちに再出席をすること	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
出席率90%以上で単位修得		出席率90%以上で単位修得	

ペット学科/動物看護師科2年生			
前期/授業予定回数：15週（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<なし> 修得目標 ・必要事項の連絡 ・クラスコミュニケーション（面談含む） 授業の特徴 ・座学 授業の進め方 ・クラス全体で伝達事項や懸案事項を検討する			
授業進行計画		授業進行計画	
第1週：面談 第2週：面談 第3週：面談 第4週：譲渡会について 第5週：運動会について 第6週： 〃 第7週： 〃 第8週： 〃 第9週：運動会振り返り 第10週： 第11週： 第12週：夏休みと定期試験について 第13週： 第14週： 第15週：後期授業・スケジュールについて			
成績評価方法		成績評価方法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペット学科/動物看護師科2年生			
前期/授業予定回数：15週（135分/週）		後期/授業予定回数： 週（ 分/週）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
ビジュアルで学ぶ 伴侶動物解剖生理学 (緑書房)	皆上 太一		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<愛玩動物看護師></p> <p>修得目標</p> <p>動物の生命維持のしくみを形態学・機能学・生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各段階で理解するとともに病的変化について学ぶ基盤を確立する。</p> <p>授業の特徴</p> <p>動物看護職統一資格試験の過去問を解答解説し、テキストの関連する部分なども活用して掘り下げる。</p> <p>授業の進め方</p> <p>講義毎に小テストを行い、評価の対象とする。</p> <p>※この科目は、小動物臨床医が実践的教育を行っています。</p>			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週 2014年度（2月）過去問より抜粋 第2週 2014年度（3月）過去問より抜粋 第3週 2015年度過去問より抜粋 第4週 2016年度過去問より抜粋 第5週 2017年度過去問より抜粋 第6週 2018年度過去問より抜粋 第7週 2019年度過去問より抜粋 第8週 2020年度過去問より抜粋 第9週 2021年度過去問より抜粋 第10週 予備週 第11週 予備週 第12週 予備週 第13週 予備週 第14週 定期試験 第15週 解答・解説			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験±平常点（授業態度、小テストの成績） 100点 10点			

ペット学科/動物看護師科2年生			
前期/授業予定回数：15週（90分/週）		後期/授業予定回数：15週（1授業90分）	
使用テキスト名	使用テキスト名	科目担当講師	科目担当講師
ビジュアルで学ぶ 伴侶動物解剖生理学 （緑書房）	皆上 太一	ビジュアルで学ぶ 伴侶動物解剖生理学 （緑書房）	皆上 太一
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 <愛玩動物看護師> 修得目標 様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害をもつ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を修得する。 授業の特徴 動物看護職統一資格試験の過去問を解答解説し、テキストの関連する部分なども活用して掘り下げる。 授業の進め方 講義毎に小テストを行い、評価の対象とする。 ※この科目は、小動物臨床医が実践的教育を行っています。		目標取得資格名 <愛玩動物看護師> 修得目標 様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害をもつ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を修得する。 授業の特徴 動物看護職統一資格試験の過去問を解答解説し、関連する部分を配布教材などを使用して掘り下げる。 授業の進め方 講義毎に小テストを行い、評価の対象とする。 ※この科目は、小動物臨床医が実践的教育を行っています。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週 2012年度過去問より抜粋 第2週 2012年度過去問より抜粋 第3週 2013年度過去問より抜粋 第4週 2013年度過去問より抜粋 第5週 2013年度過去問より抜粋 第6週 2014年度（2月）過去問より抜粋 第7週 2014年度（2月）過去問より抜粋 第8週 2014年度（2月）過去問より抜粋 第9週 2014年度（3月）過去問より抜粋 第10週 2014年度（3月）過去問より抜粋 第11週 2014年度（3月）過去問より抜粋 第12週 予備週 第13週 予備週 第14週 定期試験 第15週 解答・解説 2015年度以降は後期講義で解説予定		第1週 2014年度（3月）過去問より抜粋 第2週 2015年度過去問より抜粋 第3週 2016年度過去問より抜粋 第4週 2017年度過去問より抜粋 第5週 2018年度過去問より抜粋 第6週 2019年度過去問より抜粋 第7週 2020年度過去問より抜粋 第8週 2021年度過去問より抜粋 第9週 予備週 第10週 予備週 第11週 予備週 第12週 定期試験 第13週 解答・解説 第14週 予備週 第15週 予備週	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験±平常点（授業態度、小テストの成績） 100点 10点		小テスト+定期試験±平常点 50点 50点 10点	

ペット学科/動物看護師科2年生			
前期/授業予定回数：15週（90分/週）		後期/授業予定回数： 週（ 分/週）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
応用動物看護学② 動物医療関連法規 (エデュワードプレス)	皆上 太一		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<u>目標取得資格名</u> <愛玩動物看護師> <u>修得目標</u> 動物や獣医療に関連する様々な法規について学び、社会における動物看護の役割を理解する。 <u>授業の特徴</u> 動物看護職統一資格試験の過去問を解答解説し、テキストの関連する部分なども活用して掘り下げる。 <u>授業の進め方</u> 講義毎に小テストを行い、評価に反映させる。			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週 2011年度過去問より抜粋 第2週 2012年度過去問より抜粋 第3週 2013年度過去問より抜粋 第4週 2014年度（2月）過去問より抜粋 第5週 2014年度（3月）過去問より抜粋 第6週 2015年度過去問より抜粋 第7週 2016年度過去問より抜粋 第8週 2017年度過去問より抜粋 第9週 2018年度過去問より抜粋 第10週 2019年度過去問より抜粋 第11週 2020年度過去問より抜粋 第12週 2021年度過去問より抜粋 第13週 予備週 第14週 定期試験 第15週 解答・解説			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験±平常点（授業態度、小テストの成績） 100点 10点			

ペット学科/動物看護師科2年生			
前期/授業予定回数：15週（1授業90分）		後期/授業予定回数：15週（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
猫の教科書	森川 こずえ	猫の教科書	森川 こずえ
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<愛玩動物看護師> <u>修得目標</u> 猫の歴史と人間とのかかわり、猫の分類、特性、飼育、しつけ、健康管理について学習し、就職後に猫との関わりを持つ上で必要となる基礎知識を学ぶ。 <u>授業の特徴</u> 生体を取り入れる。小テストを行い理解度を確認する。 <u>授業の進め方</u> プリントを用いて説明する。 常に対話をしながら、学生の理解を確認しながら行う ※この科目は、猫のブリーダーの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>		<p>目標取得資格名<愛玩動物看護師> <u>修得目標</u> 猫の歴史と人間とのかかわり、猫の分類、特性、飼育、しつけ、健康管理について学習し、就職後に猫との関わりを持つ上で必要となる基礎知識を学ぶ。 <u>授業の特徴</u> 生体を取り入れる。小テストを行い理解度を確認する。 <u>授業の進め方</u> プリントを用いて説明する。 常に対話をしながら、学生の理解を確認しながら行う ※この科目は、猫のブリーダーの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
<p>第1週：猫の歴史 第2週：猫と人との関わり 第3週：猫の品種 1 第4週：猫の品種 2 第5週：猫の習性 第6週：復習 第7週：猫の習性 性格 毛色について 1 第8週：猫の毛色について 2 第9週：猫の体の構造 1 第10週：猫の体の構造 2 第11週：猫のワクチン 第12週：猫のボディランゲージ 第13週：猫の健康 第14週：定期試験 第15週：試験解答解説</p> <p>生体を使用することもありますので授業内容の順番が前後することや、変更になることもあります。</p>		<p>第1週：(A組のみ授業)キャットショーについて 第2週：シャンプー実習について 第3週：シャンプー実習の反省 第4週：猫の妊娠、出産について 1 第5週：シャンプー実習の反省 第6週：猫の妊娠、出産について 2 第7週：子猫の世話の仕方について 第8週：猫の病気について 第9週：猫の栄養と食事 第10週：猫と人の共通感染症 第11週：定期試験対策 第12週：定期試験 第13週：試験解答解説 第14週：(B組のみ授業) 病院での対応 第15週：(B組のみ授業) 病院での対応②</p> <p>多少授業内容変更、前後する可能性があります</p>	
成績評価方法		成績評価方法	
<p>素点 + 平常点 (授業態度) 100% ±10点</p>		<p>素点 + 平常点 (授業態度) 100% ±10点</p>	

ペット学科/動物看護師科2年生			
前期/授業予定回数：15週（1授業分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書 第8巻	櫻井 美優	愛玩動物看護師カリキュラム 準拠教科書 第8巻	櫻井 美優
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<愛玩動物看護師> <u>修得目標</u> 5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともにライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法などを修得する。</p> <p><u>授業の特徴</u> 座学</p> <p><u>授業の進め方</u> ※この科目は、実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>		<p>目標取得資格名<愛玩動物看護師> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> 基礎栄養学のほか犬猫等特有の栄養学、さらにペットフードや特別療法食の知識など、小動物医療に必要な食事管理の知識を身につける。</p> <p><u>授業の特徴</u> 座学。</p> <p><u>授業の進め方</u> 講義、問題演習。 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第 1 週：5大栄養素 炭水化物 第 2 週：5大栄養素 タンパク質 第 3 週：5大栄養素 脂質 第 4 週：5大栄養素 ミネラル 第 5 週：5大栄養素 ビタミン 第 6 週：必須アミノ酸・必須脂肪酸について 第 7 週：食性、嗜好性、摂食行動について 第 8 週：健康維持における栄養の意味について 第 9 週：栄養素不足、過剰症について 第10週：エネルギー要求量について 第11週：栄養基準について 第12週：ライフステージごとの栄養管理① 第13週：ライフステージごとの栄養管理② 第14週：定期試験 第15週：解答解説		第1週：ライフステージ別の食事管理 第2週：ライフステージ別の食事管理 第3週：疾患別の食事の特徴 がん・心臓病 第4週：疾患別の食事の特徴 肝臓病・関節炎 第5週：疾患別の食事の特徴 腎臓病 第6週：疾患別の食事の特徴 皮膚病 第7週：疾患別の食事の特徴 尿路結石 第8週：肥満の影響と減量プログラム 第9週：犬や猫に与えてはいけない食べ物 第10週：栄養療法 経口強制給与 第11週：栄養療法 経腸・経静脈栄養法 第12週：定期試験 第13週：解答解説 第14週：間食とサプリメント 第15週：まとめ	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペット学科/動物看護師科2年生			
前期/授業予定回数：15週（1授業90分）		後期/授業予定回数：週（1授業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
応用動物看護学3	今木 康彦	応用動物看護学3	今木 康彦
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<愛玩動物看護師></p> <p>習得目標</p> <p>【産業動物】歴史や品種、飼育管理法、および畜産業などの社会との関わりについて学ぶ。</p> <p>授業の特徴</p> <p>各産業動物のごとの生理や習性などを理解し、動物福祉に基づいた適正な飼育管理を学ぶ</p> <p>授業の進め方</p> <p>テキスト、資料等を使い授業を進めていき、さらにビデオをみて学びを深くしていく</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>		<p>目標取得資格名<愛玩動物看護師></p> <p>習得目標</p> <p>野生動物の種類と保全、動物園等の展示動物、実験動物について学ぶ。</p> <p>授業の特徴</p> <p>野生動物の種類と保全、動物園等の展示動物および動物園の役割、実験動物の役割について学ぶ</p> <p>授業の進め方</p> <p>テキスト、資料等を使い授業を進めていき、さらにビデオをみて学びを深くしていく</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
<p>第1週 【産業動物学】</p> <p>第2週 第2章 馬 1. ウマの用途、品種</p> <p>第3週 第2章 馬 2. 解剖・生理</p> <p>第4週 第2章 馬 3. 主な疾病</p> <p>第5週 第3章 豚 1. 歴史 2. 品種・特性</p> <p>第6週 第3章 豚 3. 解剖・生理</p> <p>第7週 第3章 豚 4. 飼育管理</p> <p>第8週 第3章 豚 5. 主な疾病</p> <p>第9週 第4、5章 羊、山羊</p> <p>第10週 第6章 鶏 1. 歴史 2. 品種</p> <p>第11週 第6章 鶏 3. 解剖・生理</p> <p>第12週 第6章 鶏 4. 飼養管理</p> <p>第13週 第6章 鶏 5. 主な疾病</p> <p>第14週 第7章 畜産業</p> <p>第15週 第8章 産業動物の福祉</p> <p>テスト</p> <p>解答および解説</p> <p>産業動物学まとめ</p>		<p>第1週 第3章 実験動物の特性と飼育管理</p> <p>第2週 第4章 疾患モデル動物</p> <p>第3週 第5章 動物実験の代替法</p> <p>第4週 第6章 実験動物の福祉</p> <p>第5週 野生動物学 第1章 野生動物の種類と特徴</p> <p>第6週 第2章 野生動物の保全①</p> <p>第7週 第2章 野生動物の保全②</p> <p>第8週 第2章 野生動物の保全③</p> <p>第9週 第2章 野生動物の保全④</p> <p>第10週 第3章 動物看護師と野生動物</p> <p>第11週 第4章 野生動物の福祉①</p> <p>第12週 テスト</p> <p>第13週 解答および解説</p> <p>第14週 第4章 野生動物の福祉②</p> <p>第15週 総まとめ</p>	
成績評価方法		成績評価方法	
素点+平常点（授業態度） 100% ±10点		素点+平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペット学科/動物看護師科2年生			
前期/授業予定回数：15週（1授業90分）		後期/授業予定回数：15週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
エデュワードプレス 基礎動物看護学2 他 配布資料あり	皆上まゆ子	エデュワードプレス 基礎動物看護学2 他 配布資料あり	皆上まゆ子
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 <愛玩動物看護師> 修得目標 代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。 授業の特徴 主に動物病院でよく扱う薬剤について、効果、副作用等を学ぶ。 授業の進め方 難しい内容もたのしく。 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。		目標取得資格名 <愛玩動物看護師> 修得目標 代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。 授業の特徴 主に動物病院でよく扱う薬剤について、効果、副作用等を学ぶ。 授業の進め方 難しい内容もたのしく。 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：薬理学総論 薬理学とは？ 第2週：薬物動態（ADME） 吸収・分布・代謝・排泄 第3週：耐性、薬物間相互作用 第4週：剤形、副作用 取り扱い、 第5週：調剤時の注意 コンプライアンス 第6週：薬理学各論 神経系に作用する薬 第7週： " 第8週：消化器系に作用する薬 第9週：呼吸器に作用する薬 第10週：泌尿器に作用する薬 第11週：循環器に作用する薬 第12週：" 第13週：試験前まとめ、復習 第14週：【試験実施】 第15週：【解答・解説】		第1週：薬理学各論 炎症とアレルギーの薬 第2週： " 第3週： ホルモン剤 第4週： " 第5週： 抗生物質 第6週： " 第7週： 駆虫薬 第8週： " 第9週： 消毒薬 第10週： " 第11週：< 総復習 > 第12週：【試験実施】 第13週：【解答・解説】 第14週：～国家試験対策～ 第15週：～国家試験対策～	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点+平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペット学科/動物看護師科2年生			
前期/授業予定回数：15週（1授業90分）		後期/授業予定回数：週（授業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
エデュワードプレス 応用動物看護学1 他 配布資料有り	皆上まゆ子	エデュワードプレス 応用動物看護学1 他 配布資料有り	皆上まゆ子
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 <愛玩動物看護師> 修得目標 生命倫理を基本に人と動物が共生するために必要な倫理学の理念を理解する。 動物愛護や動物福祉（アニマルウェルフェア）、およびその基礎となる生命倫理の考え方について学ぶ。 授業の特徴 診療現場での実例、対応を考えながら学ぶ。 授業の進め方 難しい内容も、楽しく。 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。		目標取得資格名 <愛玩動物看護師> 修得目標 生命倫理を基本に人と動物が共生するために必要な倫理学の理念を理解する。 チーム医療に基づいた専門職としての看護倫理、業務指針から、動物及び飼い主に寄り添った動物看護実践能力と問題解決能力を理解する。 授業の特徴 診療現場での実例、対応を考えながら学ぶ。 授業の進め方 難しい内容も、楽しく。 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：動物看護概論 獣医療・動物看護の歴史 第2週： 〃 第3週：動物看護師に求められる視点と能力 第4週：診療における動物看護師の役割 第5週：職域、職務範囲 第6週：動物看護師として必要な知識 第7週：動物看護師の役割と様々な仕事 第8週： 〃 第9週：動物看護記録（POMRの構成・SOAP形式） 第10週：知っておきたい英語（動物医療専門用語） 第11週：看護過程の5段階 第12週：まとめ 総復習 第13週： 〃 第14週：【試験実施】 第15週：【試験 解答&解説】		第1週：一般的なケア 第2週：・食事、飲水の管理、被毛、皮膚の管理 第3週：・運動、排泄の管理 第4週：病気予防のためのケア 第5週：・外見、匂い、排泄物のチェック 第6週：・定期健康診断 第7週： バイタルサイン、各種検査 第8週：・病気予防 ワクチン、予防薬、不妊処置 第9週： フィラリア予防 第10週：終末期患者の看護 QOLについて 第11週：・グリーフケア・ペットロスについて 第12週：【試験実施】 第13週：【試験 解答&解説】 第14週：～国家試験対策～ 第15週：～国家試験対策～	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験	平常点（授業態度）	定期試験	平常点（授業態度）
100%	±10点	100%	±10点

ペット学科/動物看護師科2年生			
前期/授業予定回数：15週（1授業90分）		後期/授業予定回数：14週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
応用動物看護学2 公衆衛生学	森 九重		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<愛玩動物看護師> 科目の必要性・業界での必要性 環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、 人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。</p> <p>授業の特徴 座学</p> <p>授業の進め方 座学 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：食品衛生-2 細菌性食中毒 第2週：食品衛生-3 ウィルス性食中毒 第3週：食品衛生-4 寄生虫性食中毒 その他 第4週：食品衛生-5 自然毒食中毒 第5週：食品衛生-6 食品の保存、食品添加物 第6週：食品衛生-7 食品安全行政 第7週：環境衛生-1 地球規模の環境問題1 第8週：環境衛生-2 地球規模の環境問題2 第9週：環境衛生-3 水の衛生 第10週：環境衛生-4 生活環境問題 第11週：環境衛生-5 廃棄物 第12週：環境衛生-6 衛生動物、2年まとめ 第13週：1年まとめ 第14週：定期試験 第15週：試験解答復習			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペット学科/動物看護師科2年生			
前期/授業予定回数：15週（1授業90分）		後期/授業予定回数：週（1授業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
動物看護の教科書新訂版 6巻	青木 美帆	動物看護の教科書新訂版 6巻	青木 美帆
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<愛玩動物看護師></p> <p>修得目標検体検査および生体検査に必要な機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。</p> <p>授業の特徴 動物や標本を材料とし、動物病院と同様の診療機器を用いて検査手技に習熟していく。</p> <p>授業の進め方 座学・実習</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>		<p>目標取得資格名<認定動物看護師></p> <p>修得目標検体検査および生体検査に必要な機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。</p> <p>授業の特徴 動物や標本を材料とし、動物病院と同様の診療機器を用いて検査手技に習熟していく。</p> <p>授業の進め方 座学・実習</p> <p>※この科目は、実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
<p>第1週：皮膚検査 第2週：" 第3週：細胞診 第4週：皮膚検査・細胞診復習（譲渡犬） 第5週：" 第6週：眼科検査 第7週："（譲渡犬） 第8週：復習 第9週：神経学的検査 第10週：" 第11週：復習（譲渡犬） 第12週：血液ガス・血液凝固検査 第13週：復習 第14週：定期試験 第15週：解答・解説</p>		<p>第1週：皮膚検査つづき 第2週：皮膚検査 第3週：皮膚検査 第4週：眼科検査 第5週：眼科検査 第6週：神経学的検査 第7週：神経学的検査 第8週：細胞診、（FNA、膣スメア、生検、骨髄） 第9週：血液ガス測定検査・血液凝固系検査 第10週：総復習 第11週：総復習 第12週：定期試験 第13週：解答、解説 第14週：国試試験対策 第15週：総まとめ</p>	
成績評価方法		成績評価方法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ± 10点		素点 + 平常点（授業態度） 100% ± 10点	

ペット学科/動物看護師科2年生			
前期/授業予定回数：15週（1授業135分）		後期/授業予定回数：14週（1授業90分）	
使用テキスト名	使用テキスト名	科目担当講師	科目担当講師
動物看護学の教科書5巻	青木 美帆	動物看護学の教科書5巻	青木 美帆
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<愛玩動物看護師></p> <p>修得目標</p> <p>犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識や内科診療の補助に必要な手技などを学び、身体検査や採血、輸液、輸血などについて理解する。</p> <p>授業の特徴</p> <p>座学・実習</p> <p>授業の進め方</p> <p>座学・実習</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>		<p>目標取得資格名<愛玩動物看護師></p> <p>修得目標</p> <p>犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識や内科診療の補助に必要な手技などを学び、身体検査や採血、輸液、輸血などについて理解する。</p> <p>授業の特徴</p> <p>座学・実習</p> <p>授業の進め方</p> <p>座学・実習</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
<p>第1週：復習、宿題回収、解説</p> <p>第2週：受付対応復習（病院実習室・カンパ-実習室）</p> <p>第3週：〃</p> <p>第4週：電話対応（狂犬病、フィラリア、マダニ、</p> <p>第5週：混合ワクチン）</p> <p>第6週：〃</p> <p>第7週：〃</p> <p>第8週：〃</p> <p>第9週：〃</p> <p>第10週：皮下点滴について（加圧バック）</p> <p>第11週：輸血について</p> <p>第12週：採血練習</p> <p>第13週：復習</p> <p>第14週：定期試験（筆記試験＋実技試験）</p> <p>第15週：解答・解説</p> <p>※上記日程・内容については、 生体確保等の理由により変更することがある</p> <p>※保定は後期＋臨床検査の譲渡犬の時へ</p>		<p>第1週：電話対応マダニ続き</p> <p>第2週：電話対応総復習</p> <p>第3週：電話対応総復習</p> <p>第4週：保定（採血、検査、嘔む犬、投薬、エギ）</p> <p>第5週：〃</p> <p>第6週：〃</p> <p>第7週：輸血について</p> <p>第8週：クロスマッチ</p> <p>第9週：復習</p> <p>第10週：国試試験対策</p> <p>第11週：国試試験対策</p> <p>第12週：定期試験（筆記試験＋実技試験）</p> <p>第13週：解答・解説</p> <p>第14週：総復習</p> <p>第15週：総復習2</p> <p>※上記日程・内容については、 生体確保等の理由により変更することがある</p>	
成績評価方法		成績評価方法	
<p>定期試験 + 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>		<p>定期試験 + 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>	

ペット学科/動物看護師科2年生			
前期/授業予定回数：15週（1授業360分）		後期/授業予定回数：15週（1授業360分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	石井・川端・桃井		川端・吉田・田中
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名 <経専学園認定院内グルーマライセンス> 習得目標 道具や犬の扱いを再確認し、状況に合わせた扱い方をマスターする。 授業の特徴 トリミング作業の基本とトリマーとしての心構え、技術を学ぶ。 授業の進め方 トリミング作業の基本と流れ、トリマーとしての心構え、技術を段階的に学ぶ。 ※この科目はトリミングサロンでの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>		<p>目標取得資格名<院内グルーマライセンス> 科目の必要性・業界での必要性 道具や犬の扱い方を再確認し、状況に合わせた扱い方をマスターする。 授業の特徴 トリミング作業の基本とトリマーとしての心構え、技術を学ぶ。 授業の進め方 トリミング作業の基本と流れ、トリマーとしての心構え、技術を段階的に学ぶ。また、週1回の授業なのでより有意義なものにする。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週～第15週</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 各犬種規定の時間内に仕上げる。 小型・中型・大型犬 ☆ グルーマライセンス合格者から順にトリミング犬種のトリミング <ul style="list-style-type: none"> ・シーザー ・マルチーズ ・ペキニーズ ・コッカー など 全身バリカン仕上げ、スキバサミを使用する ☆ バリカン、ハサミの確認がとれた者から動物看護師のみ受験可能な校内ライセンス試験の実施 		<p>第1週～第15週</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 各犬種規定の時間内に仕上げる。 小型・中型・大型犬 ☆ 校内ライセンス合格者から順にトリミング犬種のトリミング <ul style="list-style-type: none"> ・シーザー ・マルチーズ ・ペキニーズ ・コッカー など 全身バリカン仕上げ、スキバサミを使用する ☆ バリカン、ハサミの確認がとれた者から動物看護師のみ受験可能な校内ライセンス試験の実施 	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
『トリミング実習評価表』に基づく + 平常点 (授業態度)		『トリミング実習評価表』に基づく + 平常点 (授業態度)	
100% ±10点		100% ±10点	

ペット学科/動物看護師科2年生			
前期/授業予定回数：15週（1授業90分）		後期/授業予定回数：15週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
動物看護の教科書 新訂版 第6巻 緑書房	細谷 由紀	動物看護の教科書 新訂版 第6巻 緑書房	細谷 由紀
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<愛玩動物看護師></p> <p>修得目標 外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。また、修得した知識の実践力を身に付ける。</p> <p>授業の特徴 現場で実際に使用する器具・器材を使い実践感覚で器具の名称や扱い方を習得</p> <p>授業の進め方 理解力に合わせ、座学と実習を組み合わせで行う</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>		<p>目標取得資格名<愛玩動物看護師></p> <p>修得目標 外科学：外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。 外科実習：手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命などの動物外科学で学んだ知識の実践力を修得する。</p> <p>授業の特徴 現場で実際に使用する器具・器材を使い実践感覚で器具の名称や扱い方を習得</p> <p>授業の進め方 理解力に合わせ、座学と実習を組み合わせで行い、実践感覚を身につける。</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：麻酔管理の補助1 第2週：麻酔管理の補助2 第3週：麻酔管理の補助3 第4週：術後の管理1 第5週：術後の管理2 第6週：術後の管理3 第7週：心肺蘇生法1 第8週：心肺蘇生法2 第9週：心肺蘇生法3 第10週：救急救命時における薬物の知識 第11週：救急救命時におけるモニタリングと輸液1 第12週：救急救命時におけるモニタリングと輸液2 第13週：総復習 第14週：定期試験 第15週：定期試験回答解説		第1週：整形外科の概略 第2週：骨折と治癒機転 第3週：整形外科の器具 第4週：骨折以外の整形外科 第5週：キャストイング 第6週：腫瘍の特徴と治療の概略 第7週：腫瘍外科概論と疾患別手術法 第8週：緊急外来対応 第9週：総復習1（器具全般） 第10週：総復習2（準備・滅菌・グローブ・術着） 第11週：総復習3（モニター・術中管理） 第12週：定期試験 第13週：定期試験回答解説総 第14週：復習4（術後管理・他） 第15週：復習5（総まとめ）	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペット学科/動物看護師2年生			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：14週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		基礎動物看護学第1巻 動物繁殖学	伊東 登
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名<愛玩動物看護師> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> 動物特有の繁殖生理と来院頻度の多い繁殖系疾患を理解する。 <u>授業の特徴</u> 雌雄の生殖器の構造が常に出てくるので、形態機能をしっかり理解しておく。 <u>授業の進め方</u> 座学</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
		第1週：雌の生殖器（1） 第2週：雌の生殖器（2） 第3週：雄の生殖器 第4週：犬と猫の性周期 第5週：交配と妊娠 第6週：正常出産 第7週：助産と難産 第8週：帝王切開 第9週：新生児の管理 第10週：生殖器の疾患（1） 第11週：生殖器の疾患（2） 第12週：定期テスト 第13週：解答解説 第14週：遺伝性疾患	
成績評価方法		成績評価方法	
		定期試験＋平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペット学科/動物看護師科2年生			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：15週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		基礎動物看護学2 他 配布資料有り	皆上まゆ子
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名 <愛玩動物看護師></p> <p>修得目標 病気によって動物の体に起きる変化（病態）を調べることで病気の原因、成り立ち、経過を知ることによって疾病の様々な要因について理解する。</p> <p>授業の特徴 これまで学んだ別教科の内容とも関連付けて学ぶ。</p> <p>授業の進め方 難しい内容も楽しく。</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
		<p>第1週 ◇病理学総論 病理学とは。</p> <p>第2週 病理組織学的検査の目的、意義</p> <p>第3週 ◇病理学各論：細胞や組織に起きる変化</p> <p>第4週 ・変性と物質沈着・壊死とアポトーシス</p> <p>第5週 ・化生、再生、器質化</p> <p>第6週 ・過形成、肥大・萎縮と低形成</p> <p>第7週 病理学各論：循環障害</p> <p>第8週 ・うっ血、充血 ・出血、血栓</p> <p>第9週 ・虚血、梗塞・水腫、浮腫・ショック</p> <p>第10週 病理学各論：腫瘍 ・悪性と良性</p> <p>第11週 試験前まとめ</p> <p>第12週 【試験実施】</p> <p>第13週 【解答・解説】</p> <p>第14週 病理学各論：先天異常</p> <p>第15週 総まとめ</p>	
成績評価方法		成績評価方法	
		<p>素点 + 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>	

ペット学科/動物看護師科2年生			
前期/授業予定回数： 回（1授業 分）		後期/授業予定回数：15週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			蛭子 麻莉絵
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名<愛玩動物看護師> <u>修得目標</u> 動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する。</p> <p><u>授業の特徴</u> 事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する。</p> <p><u>授業の進め方</u> 授業で説明と架空の事例を使い看護記録作成 学期末に定期テストを行う。 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
		<p>第1週：入院～退院の流れと管理 第2週：強制給餌、エリカラ中の食事 第3週：看護計画・記録の作成について 第4週：幼齢・高齢動物の看護 第5週： 〃 第6週：呼吸器疾患の看護 第7週：循環器疾患の看護 第8週：消化器疾患の看護（胃ろうチューブ等、肝リピ） 第9週：泌尿器疾患の看護（尿貯） 第10週：運動器疾患の看護 第11週：口腔器疾患の看護 第12週：緊急疾患の看護 第13週：定期試験 第14週：解答・復習 第15週：在宅医療について</p> <p>※架空の事例（ストーリー）で看護過程を展開する授業を実施</p>	
成績評価方法		成績評価方法	
		<p>素点 + 平常点（授業態度） 100% ± 10点</p>	